



玉名ロータリークラブ週報

2016
2017



人類に
奉仕する
ロータリー

R I 会長 ■ ジョーン・ジャーム
地区ガバナー ■ 前田 眞実
会長 ■ 鶴田 倫明
幹事 ■ 大石 勉
広報委員長 ■ 吉岡 一雄

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内
TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1 安東アパート 102 号室
TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

平成28年9月1日 No.2313

玉名RCメールアドレス jimu@tamanarc.org

ホームページ <http://www.tamanarc.org/>

国際ロータリー代 2720 地区 前田眞実ガバナー公式訪問・合同例会

平成28年9月1日(木) 司ロイヤルホテル

◎ビジター

ガバナー 前田眞実様 (大分キャピタル RC)
ガバナー補佐 犬東美尚様 (玉名中央 RC)
地区幹事 中野裕貴様 (大分キャピタル RC)



<玉名中央 RC・玉名 RC 合同例会>

〈司会〉玉名 RC SAA 堀本委員長

玉名 RC 鶴田会長

12:30 点鐘

国歌斉唱

ロータリーの目的並びに四つのテスト唱和

ロータリーソング「奉仕の理想」

歓迎挨拶及び来訪者紹介 (1分)

玉名 RC 鶴田会長

ガバナー挨拶 (3分)

前田眞実ガバナー

会長の時間 (各5分)

①玉名 RC 鶴田会長

②玉名中央 RC 多田会長

幹事報告 (各1分)

①玉名 RC 大石幹事

②玉名中央 RC 中山幹事

委員会報告

スマイル報告 (各1分)

両クラブ委員長同時に登壇

出席報告 (各1分)

両クラブ委員長同時に登壇

ガバナー補佐挨拶 (3分)

犬東ガバナー補佐

ガバナーアドレス（30分）

前田眞実ガバナー

ガバナー・地区幹事へのお土産贈呈

13:30 点鐘

玉名 RC 鶴田会長

（写真撮影）

【歓迎挨拶及び来訪者紹介】鶴田会長

皆様こんにちは、玉名 RC 会長の鶴田倫明です。ロータリー歴は9年、職業分類は社会保険労務士です。どうぞ宜しくお願いいたします。そして、本日は前田眞実ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問です。まずは、御来訪者の紹介をいたします。

RI 2720 地区 ガバナー 前田眞実 様

熊本第一グループ ガバナー補佐 犬東美尚 様

RI 2720 地区 地区幹事 中野裕貴 様

本日の御来訪、とても歓迎致します。後程、ガバナーアドレス、どうぞよろしくお願い致します。とても楽しみにしております。そして、一年ぶりの合同例会ということになりましたが、玉名中央 RC 会長 多田範様、並びに 幹事 中山大輔 様、そして、玉名中央 RC の皆様、いつもお世話になっております。本日は、共にロータリーを学び、友情を深めることが出来たら幸いです。

いろいろと不手際も有るかも知れませんが、「ロータリーの友情」で宜しくお願いいたします。

<玉名 RC>

【会長の時間】鶴田会長

皆さん、改めましてこんにちは。

本日ご来訪の2720地区ガバナー 前田眞実 様、熊本第一グループガバナー補佐 犬東美尚 様、地区幹事 中野裕貴 様、改めまして、歓迎いたします。

そして、玉名中央ロータリークラブの多田会長、中山幹事様、そして、玉名中央ロータリークラブの皆様、本日はどうぞ宜しくお願い致します。

さて、今年度のジョン・ジャーム RI 会長のテーマは、「人類に奉仕するロータリー」ということで、世界で120万人以上の有能な職業人を有するロータリーの存在意義は「人類への奉仕」であると述べられました。

また、前田眞実ガバナーのスローガンは、「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」ということで、ロータリアン一人一人が、また、ロータリークラブが、そして、2720地区が学び成長し、「ロータリーの目的」を達成出来る集団となるという目標を示されました。

本年度、当クラブは、この「テーマ」と「スローガン」を常に意識することによって、有意義な一年間として行きたいと思えます。

ところで、先月地区の10年間の記録を編纂した「2720地区の地区史」を頂きました。私は、まだ入会して9年目ですので初めて手にしたわけですが、ロータリーの歴史が分かりやすくまとめられており、その充実した内容に大変感動いたしました。

中でも 1982-83「向笠広次」RI 会長のテーマ「人類はひとつ」は、ひときわ目に留まりました。入会当初、一度目にした事はあったとは思いますが、そのときは特に思う事も無かったのですが、今回改めて見直すと素晴らしい言葉だと思いました。「人類はひとつ」・・・単純な言葉ではありますが、ロータリーの奉仕活動の本質を捉えた名言だと思います。

さて、今年は「ロータリークラブ創設」から111年、「奉仕活動開始」から110年、「R 財団創設」100年になります。国際ロータリーの会員数も現在 120 万人となっています。

しかしながら、1994 年から、アメリカや日本などの先進国で、会員数が減少し、日本では13万人から9万人を割り、2720 地区でも 1000 名程度減少しております。これは、先進国の生活レベルが向上し、また、多様化し、なかなか効果的な奉仕活動は難しくなり、ロータリーの存在意義が薄れてきたことも原因の一つではないかと思えます。

しかしながら、奉仕活動あつてのロータリーであることには変わらないと思えますので、今後は、発展途上国への人道的支援活動を継続しつつも、地元への「より効果的な奉仕活動」を実施し「公共イメージや認知度の向上」に努め会員増強に繋げていかなければならないと思えます。

ここで、「より効果的な奉仕活動」を考えた場合、限られた予算、人員でのより効果的な奉仕活動を行う1つの方法として、事業の立ち上げの際は主体として実施しても、2回目以降は出来るだけ地元の組織に主体を移行して、以後は後援等でバックアップに回り奉仕活動を継続し、また新たな奉仕活動を検討し生み出すというやり方が良いのではないかと思えます。

つまり、ロータリーの理想的な奉仕活動は、
「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教える」

「井戸を作るのではなく、井戸の作り方を教える。」ことだと思えます。

実は、この様な考え方が、紀元前の中国にありましたので、少し紹介したいと思います。短い文章ですが、それは

「これを生じこれを養う、生じて有せず、成して恃(たの)まず、長じて宰(さい)せず。これを玄德と言う。」という言葉です。意味は、自然は万物を生じさせ、これを養い育てている。それにもかかわらず、その万物を自分の物として所有せず、大きな仕事をしながら、自分の手柄として誇ることもせず、万物を成長させてやりながら、主宰者たる地位に立とうとしない。この様な、少しも自己の手柄に誇ることもなく黙々としてその大事業を遂行する自然の徳は、これこそ真の徳であると述べています。

紀元前の中国に「奉仕活動」という考えはなかったかもしれませんが、ロータリーの「超我の奉仕」に相通じるものがあるように思えます。かつ、この様な方法を取れば、より効果的な奉仕活動が多く出来るのではないかと思えます。

その様な中、当クラブでは、今年度から新たな委員会として戦略委員会を立ち上げました。この委員会は、より効果的に社会に貢献できる、数年後または複数年度にまたがる奉仕活動を検討し行動計画を策定して理事会に提案する委員会です。

今後は、会員の皆様に必要とされる奉仕活動は何かを考えて頂き、そのような奉仕活動の案がありましたら、戦略委員会に、是非とも情報提供をお願い致します。また公募も1つの方法かなと思えます。そして、玉名郡市における奉仕の同志である玉名中央ロータリークラブの皆様とも協力しあいながら、地域の活性化を図っていただきたいと思います。

最後に今年度は玉名ロータリークラブの50周年であります。まずは、10月22日の「50周年記念式典」を100%例会として、そして来年3月19日の記念事業「玉名 DE 就活」を成功に導くために会員の皆様の御協力、今一度どうぞよろしくお願い致します。

同時に、この機会に新会員を促すきっかけとして、会員増強にも力を入れて行きたいと思えますので、ご協力をお願い致します。以上で、会長の時間を終わりたいと思えます。ありがとうございました。

【幹事報告】 大石幹事

○例会変更

熊本西 RC・・・9月20日(火) 観月例会のため 18:30 に変更 (場所未定)

○2017~2018 年度地区委員会委員推薦のお願いがきています。

推薦状を地区事務所へ 9月30日までに提出してください。

○地区社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕合同セミナーが開催されます。

日時 10月29日(土) 13:00~16:30(最長)

場所 ホルトホール大分

対象者 社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕・奉仕プロジェクトの各委員長・希望者

*終了後、懇親会が開催されます。(18:00)

○玉名市空手道連盟より第27回玉名ロータリークラブ杯少年少女親善空手道練成大会支援のお礼状がきています。

○全国インターアクト研修会・インターアクト委員長会議のご案内がきています。

日時 平成28年10月21日(金)~23日(土)

場所 研究会ミッドランドホール(名古屋)

【委員会報告】

○50周年実行委員会 松本実行委員長

玉名RC50周年記念式典 10月22日(土曜日)の案内。

玉名中央RCの皆様、記念式典の全員登録ありがとうございます。

荒尾・山鹿・熊本南RC様からも全員登録していただきました。

式典当日は全員参加でお願い申し上げます。

【スマイル報告】深見委員長

前田ガバナーと犬束ガバナー補佐よりスマイルをいただきました。

本日は、全員スマイルにご協力ありがとうございました。

前回までの累計 ￥160,350

今 回 ￥31,500

合 計 ￥191,850

【出席報告】深見委員長

本日の出席	会員数	48(43)名	欠席者	浜田 廣田 古賀 松崎 野田 西嶋 志賀 津留 浦田 上村 上田継 山口 山村
	出席数	30名		
	出席率	69.77%		
前回の出席	前回出席数	13名	前回のメイクアップ	村上 中嶋 田畑 吉永
	修正出席数	17名		
	修正出席率	42.50%		
出席規定適用免除者		10名		

【今後のプログラム予定】

9月8日(木)「インターアクト年次大会報告」玉名女子高校インターアクトクラブ

【ガバナーアドレス】

今年度、地区ガバナーを拝命しました大分キャピタル RC の前田です。職業分類は専門学校です。本日はガバナーアドレスとして例会の貴重な時間をいただき大変感謝しております。本日のアドレスの内容ですが次の 4 つのことを柱に進めてまいります。①国際協議会の報告、②今年度の地区方針、③規定審議会について、④その他、どうぞよろしくお願い致します。

1) 国際協議会の報告

国際協議会が 2016 年 1 月 17 日～22 日（現地時間）の 6 日間、サンディエゴのグランドハイアットホテルにて開催されました。2 日目の本会議にて、RI 会長エレクトのジョン・F・ジャーム氏より、次年度テーマの発表と講演がありました。テーマは「人類に奉仕するロータリー」という事で、とても分かりやすく日本の他地区のガバナーエレクトにも好評でした。

講演内容の中で印象に残っているのは 3 つあり、第 1 に 2017 年はロータリー財団の記念すべき 100 周年を迎えるので、周年行事を含め、ロータリー財団の活動に取り組んで貰いたいということです。次に会員増強について言われました。ただ、従来の会員増強と違うのは、会員は増やさなくてはならないが、質を落としてはいけないということです。第 3 に公共イメージの UP を挙げていました。ロータリーの活動を多くの人に知ってもらうことがロータリーのイメージを上げ、そのことから増強に繋がる。それにはマスコミを含め、一般の人から喜んでもらえる奉仕プロジェクトを実施することが大切だと語っていました。それから、研修とは別に、懇親会や晚餐舞踏会、祭りのカーニバル等、他国の人と触れ合う機会がありました。そこで、多様性について学ぶことが出来、お互いを尊重し合うことの大切さを学びました。

このような機会を与えて頂いたことに衷心より感謝を申し上げます。ロータリーの目的の実現、並びに、地区やクラブの発展に少しでも寄与できればと思います。ハードではありましたが、楽しい充実した国際協議会でした。

2) 今年度の地区方針

今年度の地区スローガンは「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」としました。ロータリーは 2005 年に 100 周年を迎え、それを機にロータリーのシステムが大きく変わり始めています。一例として、CLP(クラブリーダーシッププラン) の導入、4 大奉仕から 5 大奉仕へ、職業人以外の入会、E クラブや衛生クラブの誕生、未来の夢計画による R 財団のプログラムの変更等が挙げられます。

そんな中で、私たちが取り組まなければならないことは、変化に対応していくことです。企業経営も同じで時代に順応出来なければ淘汰されてしまいます。ロータリーが時代に即した、変化を求めているならば私達もその変化を意識し、学び、順応しなければなりません。しかしながら、どのように変化しようとも守らなければならないこともあります。そして、未来へ向けて若い人たちを育てる使命が我々ロータリアンにはあります。今まさに不易流行を意識した組織運営が求められています。

① 3) 規定審議会について

3 年に 1 度、開催される規定審議会では、クラブや地区、理事会などから提案された立法案の審議と投票が行われます。組織としてのロータリーの運営について、ロータリアンが意見を表明する場となります。4 月に審議し可決された案件は今年の 7 月から有効です。

今回の規定審議会では、より多くの裁量をクラブに委ねる立法案が採択されました。

その中心となるのが定款第 7 条です。この第 7 条は例会と出席に関する規定の例外となっており、その内容は次の通りです。「本定款の第 8 条第 1 節、第 12 条第 1、2、3、4、5 節、第 15 条第 4 節に従わない規定または要件を細則に含めることができる。そのような規定または要件は、本定款の上記の節の規定または要件に優先する。ただし、クラブは毎月少なくとも 2 回例会を開催しなければならない。」分かりやすく言うと第 8 条、12 条、15 条の中で該当する節はクラブで議論し、クラブの意向で決定して良い

というものです。もちろん決定したことは細則に謳わなければなりません。

今後は、すべて踏襲するのではなく、クラブの規模や文化（価値観）に見合ったクラブ運営が求められます。良く考え、皆で議論し、最も自分たちのクラブに適した運営方法を作り上げていくべきです。企業経営と同じで変化や進化の無いクラブはやがて淘汰されます。そして、最も大切なことは何のために入っているのか？ロータリーの目的を常に意識することです。

3) その他

最後は皆さんにお願いしたいことがあります。1つは地区大会の件です。2017年の3月23・24日で行われますが、初日はR財団100周年記念チャリティーゴルフコンペを開催します。また、別会場にて指導者育成セミナーや新会員研修も実施します。2日目はジャパネットたかたの元社長の講演、晚餐&懇親会と充実したプログラムを用意しておりますのでご参加の程よろしくお願い致します。

また、早いもので次年度の準備が始まっております。これから地区委員の募集等が始まると思いますが、ぜひクラブより地区委員を輩出してください。多くの人と知り合う機会があり、とてもためになると思います。皆さんでぜひ永田年度を盛り上げて頂きます様重ねてお願い申し上げます。

以上をもちまして本日のガバナーアドレスを終了いたします。ご清聴ありがとうございました。

